

混八五醫第二六號

自昭和二十一年五月八日
至昭和二十一年五月三十一日

衛生史編纂資料

佐世孫 田獨立混成第八十五旅團

一、部隊行動ノ概要

昭和二十一年四月二十八日内地歸還ノタメ駐屯地湖北省應城ヲ出發同月三十日
孝感ニ到着同地飛行場附近ニ露營シ鐵道輸送ノ諸準備ヲナス一方部隊
ハ第三期防疫ニ準シ防疫ニ萬遺憾ナキヲ期セリ四月二十九日ヨリ四日間獨歩第
五百四、五百五、五百六、五百七、五百八大隊司令部砲兵隊工兵隊通信隊ノ順序ニ
孝感ヲ出發ス五月四日鄭州ニ集結露營ス五月六日司令部ヲ最後發トシテ
鄭州出發一路上海ニ前進ス五月十日上海到着吳淞第六兵站ニ舍營ス上海
ハ當時歸還部隊ニコレヲ散發シアリタルヲ以テ衛生ノ重責ヲコレヲ防疫ニ指シ
シ第六兵站ノ指示ニ基キ各隊ニ防疫本員ヲ設ケ第三期防疫ヲ施行一兵ニ到ル迄
防疫ノ徹底ヲ期ス五月十五日検査終了セルヲ以テ翌十六日同上海市政府附近

4



陸軍

ニ前進露營シ嚴重ナル防疫ヲ實施シツツ乘船準備ヲ了ス五月二十日乘船
一路佐世保ニ向ツテ前進ス五月二十三日佐世保到着所命ノ隔離期間上海出
帆後百四十四時間佐世保灣ニ待期ス五月二十七日上陸同野原海軍廠倉ニ集結ス五月二十九日復員式ヲ舉行復員ヲ完了ス

二衛生機關業務ノ概要

該營事項ナシ

三人的戦力ノ狀況並ニ之ガ保持増強ノ爲實施シタル事項

内地歸還ノタリ行動中ニテ特記スべき事項ナシ然レドモ行動中ハ防疫徹底
及患者ノ早期發見ニ努メ全員内地ニ歸還出来得ル如ク指揮官以下各級
幹部ノ積極適切ナル指導ノ結果傳染病及其他疾病モ多發スル事ナ
ク將兵ノ健康ハ終始良好ニ維持セラレ概テ所期ノ目的ヲ達成セリ

(患者發生狀況第七項、如シ)

四防疫及衛生施設ノ概要

行軍鉄道輸送露營間買喰ヲ嚴禁スルト共ニ一般ニ公用ノ外外出ヲ禁止

(b) 谷 茂・原 辰

シ手指ノ消毒ハ入衛生ニ徹底セシム部隊ハ出發以來第三期防疫ニ準ジ強力且ツ徹底セル防疫ヲ實施シ来レリ又駐屯地出發ニ方リテハ全員應城患者療養所ニ於テ腸管係傳染病菌検査(全員陰性)ヲ實施各部隊衛生部長任將校ヲシテ嚴重ナル問視診花柳病検査ヲ實施セシム海ニ到着セルヤハ海検疫部隊ニヨリ五月十四日十五日、兩日嚴重ナル検査(直接採便ヨリ十名一組ノコトヲヘト)培養ヲ實施又同時ニ問視診花柳病検査ヲ實施)ヲ受ケタルモ全員陰性異常ナカリキ

乗船後ハ一般ハ入衛生ノ確行ヲ圖リタル外海水ノ使用ヲ嚴禁スルト共ニ毎日船室内外及ヒ全員ヲ石灰酸(三%)ニ依リ噴霧消毒ヲ實施船内ハ出入ニ際シテハ衛兵ヲ設ケ手指消毒ノ確行ト各人ニ噴霧消毒ヲ實施シ以テ防疫ニ八萬遺漏ナキヲ期セリ

五、衛生材料

前月既報ノ如ク各人スハ少数ノ人ス携行藥物ヲ携行セシムル外部隊ハ防疫藥物ヲ多量携行スル如ク努ム駐屯地出發時ハクソール石灰液及ヒ石灰

酸ニホリ酒精ニホリヲ携行鄭州ニ於テ石炭酸約一ロホリヲ受領シ各 隊ニ分配セリ上海出發ニ方リテハ兵站勤務隊ヨリ各隊共ニクレゾール石炭液 石炭酸約一ロホリヲ受領携行セリ	
六接收ニ関スル渉外事項	
特記事項ナシ	
七患者ノ狀況	
孝感ニ於テ	獨歩第百六六大隊 一 熱性疾患
鄭州ニ於テ	" 第百六六大隊 一 "
司令 部	一 アトバ性赤痢
獨歩第百六六大隊	一 熱性疾患
" 第百六六大隊	四 赤痢疑
旅團砲兵隊	一 "

(谷風・原稿)

旅團工兵隊 二 熱性疾患

上海ニ於テ

獨歩第百八大隊 二 熱性疾患

旅團工兵隊 四 熱性疾患 三 膿胸 一

旅團通信隊 一 右下腿骨折

右ハ何レモ入院患者ニシテ概數ナリ又受診患者ハ少數アリタルモ輕度ノ感冒單純性下痢等ニシテ上海滯留間ニ治癒セリ

ハ死亡患者數

ナシ

九、患者ノ後送轉送

ナシ

二、復員時ノ衛生業務

大陸輸送間ノ携行衛生材料ハ悉皆上海出發時兵站勤務隊ニ引継ギ改々トテ海上輸送間ノ衛生材料ヲ受領セリ(前月既報ノ駐屯地出發時ニ

於ケル携行藥物ト略々数量ハ同一ナリ	途中藥物ハ不足ヲ未タサカリキ	内地ノ陸上同時ニ在セ保復員支弁ニ殘留ヲ引渡シセリ其他第四項	ニ記載ノ如ク防疫ニ徹底セルニシテ特記事項ナシ	二居留民ノ衛生指導	該當事項ナシ	三其ノ他	ナシ
-------------------	----------------	-------------------------------	------------------------	-----------	--------	------	----

(如谷員・原以)

陸軍省(後員後員省)

混八五醫第二六號

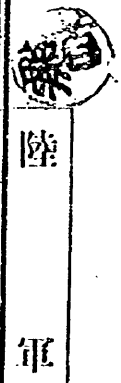
自昭和二十一年五月一日
至昭和二十一年五月十九日

衛生史編纂資料

佐世保 旧獨立混成第八五旅團

一 部隊行動ノ概要

昭和二十一年四月二十八日内地歸還ノタメ駐屯地湖北省應城ヲ出發同月三十日
 孝感ニ到着同地飛行場附近ニ露營シ鐵道輸送ノ諸準備ヲナス一方部隊
 ハ第三期防疫ニ準シ防疫ニ萬遺憾ナキヲ期セリ四月二十九日ヨリ四日間獨歩第
 五百四、五百五、五百六、五百七、五百八大隊司令部砲兵隊工兵隊通信隊ノ順序ニ
 孝感ヲ出發ス五月四日鄭州ニ集結露營ス五月六日司令部ヲ最後發トシテ
 鄭州出發一路上海ニ前進ス五月十日上海到着吳淞第六兵站ニ合營ス上海
 ハ當時歸還部隊ニコレラ散發シアリタルヲ以テ衛生ノ重莫ヲコトシ防疫ニ持向
 シ第六兵站ノ指示ニ基キ各隊ニ防疫委員ヲ設テ第三期防疫ヲ施行一兵ニ到ル迄
 防疫ノ徹底ヲ期ス五月十五日検査終了セリ以テ翌十六日旧上海市政府附近



二前進露露シ嚴重ナル防疫ヲ實施シツツ乘船準備ヲ了ス五月二十日乘船
一路佐世保ニ向ツテ前進ス五月二十五日佐世保到着所命ノ隔離期間上海出
帆後百廿四時間(佐世保灣ニ待期ス五月二十五日上陸旧針尾海
甲辰舎ニ集結ス五月二十八
日復員式ヲ舉行復員ヲ完了ス

二衛生機関業務ノ概要

該場事項ナレ

三人的戦力ノ狀況並ニ之ガ保持増強ノ爲實施シタル事項

内地歸還ノタリ行動中ニテ特記スベキ事項ナレ然レドモ行動中ノ防疫ノ徹底
及患者ノ早期發見ニ努メ全員内地ニ歸還出来得ル如ク指揮官以下各級
幹部ノ積極適切ナル指導ノ結果傳染病及其他疾病モ多發スル事ナ
ク將兵ノ健康ハ終始良好ニ維持セラレ概ネ所期ノ目的ヲ達成セリ
(患者發生狀況第七項ノ如シ)

四防疫及衛生施設ノ概要

行軍鉄道輸送露露間買喰ヲ嚴禁スルト共ニ一般ニ公用ノ外ノ外出ヲ禁止

(新谷典・京視)

シ手指ノ消毒ハ入衛生ニ徹底セム部隊ハ出發以來第三期防疫ニ準ジ強力ニ
 徹底セル防疫ヲ實施シ来レリ又駐屯地出發ニ方リテハ全員應救患者療
 養所ニ於テ腸管係傳染病菌檢索(全員陰性)ヲ實施各部隊衛生部共任
 將校ラシテ嚴重ナル問視診花柳病検査ヲ實施セム上海ニ到着セルヤ上海檢
 疫部隊ニヨリ五月十四日十五日兩日嚴重ナル検査(直接採便ヨリ十名一組ノコト
 ハ口上培養ヲ實施)又同時ニ問視診花柳病検査ヲ實施)ヲ受ケタルモ全員
 陰性異常ナカリキ

乗船後ハ一般ハ入衛生ノ確行ヲ圖リタル外海水ノ使用ヲ嚴禁スルト共ニ毎日
 船室内外及ヒ全員ヲ石炭酸(3%)ニ依リ噴霧消毒ヲ實施船内ハ出入
 ニ際シテハ衛兵ヲ設ケ手指消毒ノ確行ト各人ニ噴霧消毒ヲ實施シ以テ
 防疫ニハ萬遺漏ナキヲ期セリ

五衛生材料

前月既報ノ如ク各人ハ少数ノ入携行藥物ヲ携行セムル外部隊ハ防
 疫藥物ヲ多量携行スル如ク努ム駐屯地出發時ニクレゾール石炭液及ヒ石炭

酸	三〇〇〇	酒精	二〇〇〇	ヲ	携行	鄭州	於テ	石炭酸	約一〇〇〇	ヲ	受領	各
隊	ニ	分配	セリ	上海	出發	ニ	方リ	テハ	兵站	勤務	隊ヨリ	各隊
共	ニ	ク	レ	ゾ	ル	石炭	酸	液				
六	接	收	ニ	関	ス	ル	渉	外	事	項		
特	記	事	項	デ	シ							
七	患	者	ノ	状	況							
孝	感	ニ	於	テ								
獨	歩	第	五	六	大	隊	一	熱	性	疾	患	
〃	〃	第	五	六	大	隊	一	〃	〃	〃	〃	
鄭	州	ニ	於	テ								
司	令	部	一	ア	ノ	性	赤	痢				
獨	歩	第	五	六	大	隊	一	熱	性	疾	患	
〃	〃	第	五	七	大	隊	四	赤	痢	疑		
旅	團	砲	兵	隊	一	〃	〃	〃				

(新谷典・京版)

旅團工兵隊 二 熱性疾患

上海ニ於テ

獨歩第吾八大隊 二 熱性疾患

旅團工兵隊 四 熱性疾患 三 膿胸 一

旅團通信隊 一 右下腿骨折

右ハ何レモ入院患者ニシテ概數ナリ又受診患者ハ少數アリタルモ輕度ノ感

冒單純性下痢等ニシテ上海滯留間ニ治癒セリ

ハ死亡患者數

ナシ

九、患者ノ後送轉送

ナシ

一、復員將ノ衛生業務

大陸輸送間ノ携行衛生材料ハ悉皆上海出發時共給勤務隊ニ引継ギ

改々トテ海上輸送間ノ衛生材料ヲ受領セリ前月既報ノ駐屯地出發時ニ

										<p>於此携行藥物ト略々數量大同ナリ(途中藥物ハ不足ヲ未タサカリキ 内地ト陸下同時ニ在セ保復員支局ニ送附ヲ引渡シセリ其他第四項 ニ記載ノ如ク防疫ニ徹底セルニシテ特記事項ナシ</p> <p>二、居留民ノ衛生指導</p> <p>該諸事項ナシ</p> <p>三、其ノ他</p> <p>ナシ</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

(島谷貞・京版)

1105